



ななつかの風～

畜産技術センターニュース

発行事務局
● 広島県立総合技術研究所
畜産技術センター技術支援部
〒727-0023
庄原市七塚町584番地
TEL 0824-74-0331
FAX 0824-74-1586

● センター長の意気込み！

今年、北部畜産事務所・家畜保健衛生所からセンター長として赴任した藤井司です。

畜産で推進すべき喫緊の課題は、広島牛の生産構造改革です。今後、短期・低コスト生産技術を開発し、県内産和牛の6,000頭シェアの確保、地産地消を目指します。

また、流通業者・消費者のニーズ調査で差別化要素を明らかにし、県内産和牛の特質として位置付け、県独自の遺伝情報や飼養管理技術を活かした『ひろしま生まれの、ひろしま育ち+one（プラスワン）』として、ブランド化を推進します。

総合技術研究所の一員として、他センター（工業系、農業系など）と連携し、当センターの持つ技術力を活かした研究開発を実践し、新しい価値を創造したいと思っています。



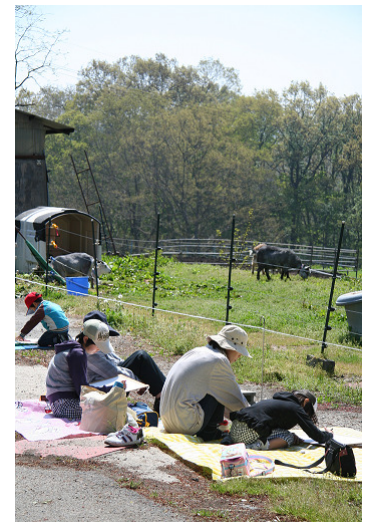
藤井司センター長

● 5月5日 晴天の七塚原写生大会開催！

5/5こどもの日に、抜けるような青空の七塚原高原で写生大会が開催されました。多くの子供たちや父兄の方が参加されました。

畜産技術センターには、おおよそ160名の方が来場され、体や靴の衛生対策（消毒）後に、家畜飼養ゾーンに入り、牛や山羊、畜舎、ポプラ並木を題材に、家族で競いながら写生されていました。

大会中には、家畜についての問い合わせもあり、「なぜ、衛生対策をするの?」、「身近で家畜を見ることが少なく、今回の参加はとてもよかった!」、「また、来たいです。」「ありがとう。」という言葉で気持ちよく散会されました。



親子団欒。いい絵です。



さあ、かぶりつきで描くぞ！

● 牧草（イタリアンライグラス）の刈取！

七塚では、牧草（イタリアンライグラス）の刈取りが4/25から始まりました。

図に示したように、3月暖かく収量増が期待されましたが、4月中旬から5月連休明けまで、最高気温は平年値を下回り推移しました。追肥をしましたが収量は昨年70%程度でした。一方、5/8から、トウモロコシ播種を開始しています。家畜の粗飼料確保は夏作飼料が有利であり、トウモロコシ作付を急ぎましょう。

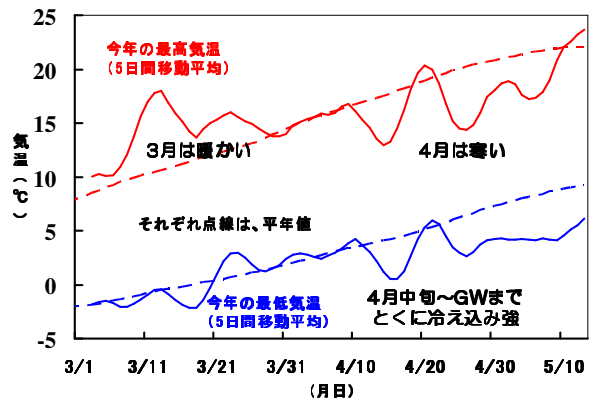


図 今年の最高気温と最低気温の推移 (それぞれ、点線は平年値)

● 学位取得！！

平成25年3月に、当センターの森本和秀副主任研究員が博士号（広島大学）を取得しました。

博士論文の課題名は、「大腸菌不活化ワクチンの接種がウシ乳房の免疫機能に及ぼす影響に関する研究」です。



学位記

この研究は、平成16～20年度の重点開発研究（県単課題）で実施した「乳房炎発生予防技術の開発」で得られた成果を基本にした内容です。

内容は、乳牛に下痢予防用の大腸菌不活化ワクチンを接種し、乳牛の乳房の免疫機能への影響と、ワクチン接種による農家の乳房炎の発生率、死廃率をまとめたものです。

大腸菌不活化ワクチンの接種は、大腸菌性乳房炎発生時の過剰反応を抑制し乳房炎死廃事故を低減すること、また、不活化ワクチンの接種方法は、初夏の一斉接種が効果的であることを示したものです。



刈取の済んだ牧草

● 新人さん紹介！！！！

今年、柴田愛梨（しばたえり）研究員が仲間入りしました。育種繁殖研究部に配属され、担当は、広島牛改良に重要な遺伝的評価、種雄牛の管理や一定条件の肥育で候補種雄牛の肉質や増体の評価をする仕事です。

慣れないながらも、楽しみながら仕事をしています。農家現場では声をかけてください。



柴田さんと種雄牛

編集後記：前任者から、情報発信を引き継ぎました。ひとまず、自分の仕事を把握、確認するのが先と思っていましたら、あっという間に前号を出してから1ヶ月経過です・・・七塚の魅力を伝えることができるよう精進いたします。・・・SS